

# 急変アセスメント 症例トレーニング

初級者向け

呼吸・循環 編

『総合診療医 ドクターG』を  
看護版にアレンジした学習セミナー

イーナス  
e-nus 看護セミナー2019

12,000円  
(税込・資料つき)

※昼食は各自でご用意ください。  
※催行人数に達しないときは中止となる場合  
がございます。予めご了承ください。

3名様以上のお申込みで、お一人様1,000円割引  
5名様以上のお申込みで、お一人様2,000円割引

『フィジカルアセスメント』と『看護推論』を駆使して、  
急変を未然に防げるようになりましょう！

- ・急変につながる兆候や所見を確実にキャッチできるようになりたい
- ・(疾患ありきの) 偏りのある自分のアセスメント力を磨きたい
- ・呼吸音や心音を聞き分け、異常を把握できるようになりたい
- ・全身を系統的にアセスメントできるようになりたい
- ・収集した情報を適切な看護ケアに結び付けられるようになりたい
- ・異常や変化を正確にキャッチできるようになりたい
- ・一歩踏み込んだ情報収集ができるようになりたい などなど

## 指導講師

まさおか ゆうき  
政岡 祐輝 先生 国立循環器病研究センター病院 看護部 副看護長

2007年国立循環器病研究センター病院心臓血管外科系集中治療室に配属。2014年に集中ケア認定看護師資格取得。現在は臨床で働く傍ら、熊本大学大学院社会文化科学研究科で「教授システム学」を専攻し、「教え方」を学びつつ、院内外の看護師を対象とした様々なセミナーの企画・運営に携わる。

地区・日程 時間は10:00～16:30

大阪地区 **1月19日(土)**  
エル・おおさか 本館7階 709会議室  
大阪市中央区北浜東3-14

名古屋地区 **3月9日(土)**  
名古屋国際会議場 1号館3階 131+132会議室  
名古屋市熱田区熱田西町1-1

東京地区 **3月17日(日)**  
大田区産業プラザ 3階 特別会議室  
東京都大田区南蒲田1-20-20

お申込み Web・TEL・FAXのいずれかよりお申込みください。

仮登録 ..... 入金 .....

## Web からのお申込み

小社HP (<http://www.e-nus.jp>)

**お申込みフォーム** からお申込みください。

- 携帯アドレスでの登録は、未受信のおそれがありますので、PCアドレスでの登録をお勧めします。
- 小社メールアドレス [info@e-nus.jp](mailto:info@e-nus.jp) を受信可能な状態にご設定ください。
- お申込み後に、その後のお手続き方法を記したメール(仮登録完了通知)をお送りします。お申込みから3日以内に仮登録完了通知が届かない場合は、ご予約ができていないおそれがありますので、お電話にてお問い合わせください。
- 開催日の1週間以内のお申込みは、お電話にてお願いいたします。
- 外部サイト **Meducation** から、お申込みいただけます。

## TEL・FAX でのお申込み

☎ **042-444-3810**  
月～金 9:00～18:00

次の内容をお伝えください。  
※FAXでのお申込みは、小社HPトップ画面の  
**FAX申込用紙**をご利用ください。

- 開催日、会場、セミナー名
- 氏名(複数でご参加の場合は全員分)
- 受講票の送付先住所
- 連絡先電話番号と携帯番号(代表者のみ)
- 勤務先名・所属・役職・経験年数等
- キャンセルはお電話にてお願いいたします。

## キャンセル料

12日前まで：手数料1,000円をご負担いただきます  
5日前まで：参加料金の50%をご負担いただきます  
5日以内：参加料金の100%をご負担いただきます

- 9:20～10:00 開場・受付, information  
10:00～12:30 ●系統的アセスメントの習得  
●フィジカルイグザミネーションのおさらい  
・呼吸音と心音の正常・異常  
・呼吸音と心音を聞き分けるポイント ほか  
12:30～13:30 ランチタイム  
13:30～16:30 ●症例学習  
Step1 動画を見ながらアセスメントシートを埋める  
Step2 不足している情報がないかを考える  
Step3 不足している情報を意図的にとりにいく  
Step4 基礎情報や収集した情報を整理・評価する  
Step5 患者の経過・病態を予測する  
Step6 対処行動(適切な看護)を導き出す  
●まとめ・質疑応答

このセミナーでは、午前は自信をもってアセスメントができるようになるためのフィジカルイグザミネーションを学び、午後はリアルな症例動画を見ながらグループみんなで情報を収集し、急変の兆候やその根拠、対処方法を考えるトレーニングを行います。「観察ポイントが偏っていないだろうか、情報のとり方が疾患ありきになっていないだろうか、重要な所見の見落としがないだろうか、呼吸音を聞き分けられるだろうか、モニタの数値に頼り過ぎていないだろうか、不十分な情報のなかで判断・解釈していないだろうか……」。症例をこなすうちに自分の弱点や癖に気づき、さらにはグループメンバーとのディスカッションで新たな視点や思考を獲得することができます。

そのほか、知っていると便利な聴診器の使い方や、簡単に鑑別できる呼吸音・心音聴取のポイントなど、臨床で使える知識もたくさん習得できます。

GWをとおして、アセスメント力・推論力のレベルアップを図ろう♪